

# 品川区議会だより



## 第277号

令和元年(2019年)11月26日発行

発行／品川区議会 〒140-8715 東京都品川区広町2丁目1番36号

電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895

品川区議会のホームページアドレス <https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>



## 令和元年 第3回定例会

- 品川区のこのようなことが決まりました ..... 2～3
- 第3回定例会の議決結果 ..... 4～5
- 第3回定例会で議決した決議・意見書 ..... 6
- 区政をきく（一般質問）..... 7～12
- お金の使いみちを審査しました（決算審査のあらまし）..... 13
- 決算に対する各会派の意見表明 ..... 14～15
- 常任委員会の活動・特別委員会の活動 ..... 16～17
- 請願・陳情の結果 ..... 18～19
- 本会議・委員会の日程（予定）..... 19
- インターンシップ生を受け入れました ..... 20

### 表紙の写真について (池田山公園)

池田山公園（東五反田五丁目4番）は、旧岡山池田藩下屋敷跡を整備した鑑賞型公園で、「しながわ百景」にも選ばれています。

なお、今回の写真はご応募いただいた中から選ばれました。

（ご本人のご希望により匿名）

※写真の募集については20ページをご覧ください。

写真の掲載については確認済ですが、無断転載・転用は固くお断りします。  
ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。



### 東大井保育園・児童センターなどの 所在地変更について決定しました

第 82 号議案 品川区立児童センター条例の一部を改正する条例  
第 83 号議案 品川区立保育所条例の一部を改正する条例

東大井保育園・児童センターは、改築工事に伴い、令和2年9月から東大井公園内(東大井三丁目4番)の仮施設に移転し、工事が完了する令和4年度に移転前の場所に戻る予定です。なお、その後の仮施設については、大井保育園が改築の際、仮園舎として利用する計画となっています。

このほか、八潮北保育園と八潮西保育園の改築工事に伴う所在地変更についても決定しました。

#### 委員会での質問

Q 工事にあたり、地域住民への説明や対応は。

A 地域住民の要望を受けとめながら、個別に説明し時間帯に配慮するなど、工事へのご理解をいただけるように進めます。

### 2歳児以下のお子さんのいる多子世帯の負担軽減を図ります

第 84 号議案 品川区保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例  
第 85 号議案 品川区私立認定こども園、私立幼稚園および特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例

認可保育園、認定こども園、特定地域型保育事業に在園している2歳児以下の月額保育料を、第1子の年齢に関わらず、第2子は半額、第3子以降は無償とします。

【改正後の例】

	第1子(小4以上)	第2子(小3)	第3子(0歳)
兄弟状況			
現状	多子認定対象外	第1子認定	第2子認定(半額負担)
改正後	第1子認定	第2子認定	第3子認定(無償)

(令和元年9月24日文教委資料より)

#### 委員会での質問

Q 対象となる子どもの年齢の上限等を撤廃することにより、新たに対象となる人数は。

A 区立保育園では67名、私立認可保育園では77名の計144名です。

(令和元年9月24日現在)

### 議案審議 - 令和元年第3回定例会 -

# 品川区のこのようなことが 決まりました

会期35日間:令和元年9月19日~10月23日

今回審議した議案等は  
区長提出議案……15件  
各会計決算……5件  
議員提出議案……3件  
請願・陳情……34件  
計57件

※ 上記のうち、主な議案を以下のとおりご紹介いたします。

### 令和元年度品川区一般会計の補正予算を可決しました

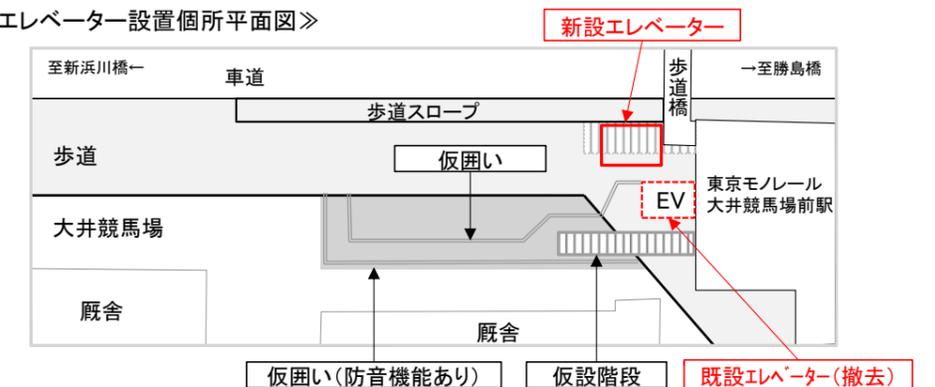
第75号議案 令和元年度品川区一般会計補正予算

補正額は、歳入歳出とも、3億6,005万9千円を追加し、総額を1,886億1,872万6千円とするものです。主な事業をご紹介します。

### 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の 施設周辺の施設整備を進めます

オリンピック・パラリンピック施設周辺無電柱化事業として、施設周辺の道路整備工事や勝島歩道橋南側エレベーター設置工事を進めています。このうち、勝島歩道橋南側エレベーター設置工事についての工事内容を一部変更しました。

《エレベーター設置個所平面図》



(令和元年9月24日建設委員会資料より抜粋)

### 第3回定例会の議決結果 意見の分かれた議案等

議案番号	件名	結果	自・無 (9)	自民 (8)	公明 (7)	共産 (6)	品改 (3)	ネット (2)	無所属議員 (50音順)					
									(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
75	令和元年度品川区一般会計補正予算(2ページに説明を掲載)	可決	○	※ ○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
76	会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例	可決	○	※ ○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
77	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	※ ○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
78	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	※ ○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
83	品川区立保育所条例の一部を改正する条例(3ページに説明を掲載)	可決	○	※ ○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
88	指定管理者の指定について(区立品川産業支援交流施設)	可決	○	※ ○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度品川区一般会計歳入歳出決算		認定	○	※ ○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度品川区国民健康保険事業会計歳入歳出決算		認定	○	※ ○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
平成30年度品川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		認定	○	※ ○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度品川区介護保険特別会計歳入歳出決算		認定	○	※ ○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出6	品川上空を飛行する羽田新ルート計画の決定に対する決議	否決	×	※ ×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議員提出7	品川上空を飛行する羽田新飛行ルート計画決定に関する決議(6ページに決議文を掲載)	可決	○	※ ○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○

○…賛成 ×…反対 (数字)は所属議員数 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。  
 ※自民のうち1名は議長の職務を行ったため、議決には加わりませんでした。  
 ●会派名は次の略語で記載しています。  
 自・無…自民・無所属・子ども未来 自民…品川区議会自民党 公明…品川区議会公明党 共産…日本共産党品川区議団  
 品改…品川改革連合 ネット…品川・生活者ネットワーク

**「もっと知りたい!」におこたえます**

品川区議会

品川区議会ホームページでは、議案の内容や議決結果、会議録などを公開しています。

また、本会議や予算・決算特別委員会総括質疑の様子もインターネット中継でご覧になれます。

ぜひ、ご活用ください。

こちらのQRコードからもアクセスできます→

<https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>

区議会ホームページ トップ画面(パソコン)

### 第3回定例会の議決結果 全会一致で可決した議案等

議案番号	件名
79	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
80	職員の結核休養に関する条例を廃止する条例
81	品川区印鑑条例の一部を改正する条例
82	品川区立児童センター条例の一部を改正する条例(3ページに説明を掲載)
84	品川区保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例(3ページに説明を掲載)
85	品川区私立認定こども園、私立幼稚園および特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例(3ページに説明を掲載)
86	品川区立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
87	選挙長等の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
89	教育委員会委員の任命同意について(富尾 則子 氏)
平成30年度品川区災害復旧特別会計歳入歳出決算	
議員提出8	固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書(6ページに意見書を掲載)

### 本会議や委員会を傍聴してみませんか

本会議、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、区議会事務局(区役所議会棟4階)で傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は本会議、各委員会が始まる1時間前から交付します。定員は本会議は77人(車椅子用4席含む)、第1委員会室は65人、第2～第5委員会室は各10人までとなっています。議会日程等につきましては、区議会だよりや区議会ホームページ、広報しながらでお知らせしています。議会の日程は変更する場合がありますので、傍聴を希望される場合は、あらかじめ区議会事務局までお問い合わせください。(議事係 電話:03-5742-6809 FAX:03-5742-6895)

**傍聴にあたり、聞き取りが困難な方のために・・・**

**本会議で音声を文字化する傍聴支援を始めます**

本会議の内容を音声認識によりリアルタイムで文字化し端末に表示する傍聴支援を、令和元年第4回定例会本会議から開始します。

**本会議場・委員会室にヒアリング支援機器を導入しています**

本会議場に設置されている難聴者補助設備(磁気ループ)に加え、委員会室にも簡易型のヒアリング支援機器を導入しています。

**音声文字化用の貸し出し端末(タブレット)や補聴機器の利用を希望される場合は、傍聴手続きの際にお申し出ください。(数に限りがありますので、ご了承ください)**

# 区政をきく （一般質問）

令和元年第3回定例会では、区政全般について、  
10名の議員が一般質問を行いました。  
以下、概要をお知らせします。

## 一般質問

あべ 祐美子 議員 (無所属)	中塚 亮 議員 (共産)	西村 直子 議員 (自民)	大倉 たかひろ 議員 (自・無)	あくつ 広王 議員 (公明)	9月20日(金)	筒井 ようすけ 議員 (品改)	大沢 真一 議員 (自・無)	安藤 たい作 議員 (共産)	新妻 さえ子 議員 (公明)	鈴木 真澄 議員 (自民)	9月19日(木)
-----------------------	--------------------	---------------------	------------------------	----------------------	----------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------

会派名は次の略語で記載しています。

自・無……自民・無所属・子ども未来 自民……品川区議会自民党  
公明……品川区議会公明党 共産……日本共産党品川区議団  
品改……品川改革連合 ネット……品川・生活者ネットワーク

### 一般質問とは

議員が、区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関  
に対して行う質問です。各定例会で行われます。

## 【議員提出第7号議案】

### 品川上空を飛行する羽田新飛行ルート計画決定に関する決議

品川区議会では、本年3月26日の定例会本会議において、「品川上空を飛行する羽田新飛行ルート計画に関する決議」を全会一致で可決し、現計画の再考を強く求めている。

品川区は、7月30日に開催された関係区市連絡会で、区民の不安の声と品川区議会の全会一致の決議を踏まえ、落下物対策、騒音環境軽減に向けた更なる取り組みと、区民への丁寧な説明、周知の継続実施、また、現飛行ルート案を固定化することがないよう取り組むことを強く求めた。国からは、「飛行ルートのあり方については、騒音軽減等の観点から継続的に検討して参りたい」との回答があった。

国土交通大臣は、8月8日、羽田新飛行ルート計画の正式決定に関する発表を行った。その際、大臣は、「いただいた御意見・御要望をしっかりと受け止め、丁寧に対応する旨回答いたしました」と発言した。

品川区議会は国土交通省に対し、区民の不安払しょくにつながる効果的な対策の実施と、早急かつ具体的にルートの再考および固定化を避ける取り組みを示し、実行に移すことを強く求める。

以上、決議する。

令和元年9月20日

品川区議会

## 【議員提出第8号議案】

### 固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

内閣府による令和元年9月公表の月例経済報告において、「景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。」とされたものの、区内の小規模事業者の経営状況が十分に改善していると言え難く、景気回復の実感は薄い。

このような状況の中で、東京都が実施している「小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置」「小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置」及び「商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置」は、厳しい経営環境下に置かれている小規模事業者にとっても、事業の継続や経営の健全化への大きな支えとなっている。

東京都がこれらの軽減措置を廃止すれば、小規模事業者の経済的・心理的負担は極めて大きく、回復基調にある景気に与える影響が強く危惧される。

よって、品川区議会は東京都に対し、下記の事項について強く要望するものである。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を令和2年度以降も継続すること
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を令和2年度以降も継続すること
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を令和2年度以降も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和元年10月23日

品川区議会議長 渡辺 裕一

東京都知事 小池 百合子 様

鈴木 真澄 議員 (自 民)



長期基本計画と新庁舎について

問 前回の基本計画の達成度と、今回その評価をどのように生かすか。  
答 着実に計画事業を推進してきた。品川区の将来に向け、さらなる充実を図るべく計画化している。

問 職員長期基本計画にける思いはどう表現されているか。  
答 全庁的な課題認識と機運醸成を図る取り組みを進め、庁内議論の積み上げを新計画素案としている。

問 JR広町社宅跡地案の床面積はどの程度か。第二庁舎も含めた検討を。区役所跡地に集客施設を。  
答 行政機能を効果的に配置するため必要な床面積を検討。第二庁舎は機能やまちづくりを合わせ検討。多目的の施設が必要と考える。

問 教育について  
学習指導要領改訂後の影響は。  
答 住民の声を受け、規模の見直しを準備組合に働きかけるよう求める。事業者が地域住民と話し合いを重ね、この地域の意見として進めていると聞いている。区の方針に従ったこの計画を支援していく。

答 義務教育9年間を一貫して捉える学びの理念を継承しており大きな影響はない。

問 特別支援教育も小・中学校の切れ目のない接続が必要と考えるが。児童・生徒の障害の状況に応じた指導を組織的かつ計画的に行うことが大切。個別や小集団での指導に取り組んでいる。  
答 ぶりすくーる西五反田の社会福祉法人化の具体的スケジュールは。既存の社会福祉法人との合流による社会福祉法人化をめざし調整。

問 就学前教育に対する運営方針は何か、多様な保護者ニーズを捉えるどのように展開していくか。  
答 全ての乳幼児に対し質の高い保育・教育を行い、小学校教育にスムーズにつないでいく方針。

問 東京2020大会について  
期間に合わせ品川の伝統文化の象徴である神輿渡御の実施を。  
答 予算編成に合わせ具体的に検討。品川区独自ボランティア「しな助」と大会終了後も連携を。

問 大会ボランティアで地域貢献の楽しさを体感し、協働の担い手になって頂くことはレガシーと捉える。その他の質問  
答 羽田新飛行ルートに関して

新妻 さえ子 議員 (公 明)



命を守るための防災対策について

問 災害時、医療上リスクの高い妊産婦・乳児に特化した避難所である、救護所設置を要望。  
答 専用の施設の設置を含め、支援体制を検討する。

問 ペットの避難において、理解促進のため、区民避難所での避難訓練の際、実際にペットを連れての同行避難を行うことは？  
答 実施に向け調整を行っている。

問 居住支援協議会の設置について  
住宅確保要配慮者の支援のため、住宅課、子ども未来部、福祉部との連携が必要では？  
答 居住支援協議会の設立に先立ち、関係各課を構成員とする庁内検討会の設置を予定している。

問 空き家の活用について  
「空き家等地域貢献活用事業」を

活用して、地域に根差した空き家の活用推進を要望。  
答 子どもの学習支援等での空き家の活用に取り組んでいることから、この制度等の活用をしていく。

問 高齢者の安全運転支援について  
区のホームページに「免許返納について」などの情報提供や普及促進に関する掲載を要望。  
答 高齢者の交通事故の状況や運転免許証の自主返納、区における相談窓口について掲載する準備をしている。

問 長期化させないためのひきこもり支援について  
秋田県藤里町が、個別訪問から就労支援へとつなげた結果、ひきこもりが激減した藤里方式を参考に品川区社会福祉協議会が行う、「若者の社会参加応援事業」と、区の事業である子ども若者応援フリースペースと荏原保健センターを始め、3保健センターとの連携は？  
答 現在、品川区社会福祉協議会と、しながら藤里町体験プログラムの構築を図っている。この構築には、フリースペースの運営者や保健センターの協力は不可欠。定期的な意見交換等を行っている。

安藤 たい作 議員 (共 産)



区民、区議会決議を無視し羽田新ルート計画を受け入れた区長に資格なし、濱野区長の辞職を求める

問 国は「品川区からは理解を得られ」と明言したが、その評価でいいのか。世論と区議会決議に反し、計画を受け入れた濱野区長には区長の資格はない。辞職を求める。  
答 羽田空港の機能強化は、国が進める事業。国は責任を持って進めると回答。あくまで国の判断という

のが区の認識。区としては騒音や落下物など環境影響に対する取り組み、ルートを固定化しない取り組みを引き続き国に求めていく。  
問 超高層再開発は止めよ  
人口激増であふれる駅、ゼネコンの儲けのために税金投入を進める  
大崎駅西口F南地区再開発が149mでなければならない理由は何か。

住民の声を受け、規模の見直しを準備組合に働きかけるよう求める。事業者が地域住民と話し合いを重ね、この地域の意見として進めていると聞いている。区の方針に従ったこの計画を支援していく。

大沢 真一 議員 (自・無)



高齢者のセーフティネットについて

問 将来的にひとり暮らし高齢者と高齢者のみの世帯を加えた数がどう推移するか、見解を。  
答 65歳以上の高齢者人口や高齢者世帯は現在も増加しており、今後とも次期長期基本計画の10年間にについては増加すると見込んでいる。

問 見守りのマンパワーを現状の施策で十分確保できるのか。必要があれば定期連絡の有料サービスを提供してはと考えるが、見解は。  
答 民生委員や町会・自治会の訪問等を中心に、地域での見守り体制の充実を図っている。さらに、民間警備会社を活用した緊急通報システムによる安否確認事業を実施し、緊急時における不安の解消と生活の安全の確保を図っている。

品川区予算の透明性の確保について  
港区等では随意契約の情報が公開されており、いずれはここまでの透明性が必要ではないか。品川区においても、区のホームページで落札率や受注業者など公表すべきと考えるが、見解は。  
答 契約情報については、区ホームページで工事発注予定表を掲載するほか、契約簿等を紙の冊子により区役所経理課窓口で公表している。今後、ホームページにおいて「予定価格」等の公表を検討していく。

品川区におけるタワーマンション建設について

問 タワーマンションの建設をめぐっては景観への影響や、タワーマンション住民への騒音問題により地域イベントが制限されるなどの事例も報告される。地域づくりとうまく共存して建設されなければならないと考えているが、見解は。  
答 都策定の「都市づくりのブランドデザイン」において、品川区の住宅の整備は量から質への転換の促進が定められた。今後も望ましい将来像を見据え、地域コミュニティを重視し、持続的発展を考えたまちづくりに取り組んでいく。

筒井ようすけ 議員 (品改)



羽田新飛行ルートについて

教育施設等へは騒音防止工事の助成を行うようだが、在宅で医療・介護、教育・子育て、仕事を行う方が増えてくるといふ現実を踏まえ、区は、国に対し、一般住宅への騒音防止工事助成など騒音防止対策を強く求めるべき。

国は、事前の調査により、住宅が助成対象となる区内地域はないとしているが、拡充策の実施について国に求める。

区が言うルートの「固定化を防ぐ」とはどのような意味なのか。具体的方法はどのように考えているのか。

例えば、他の首都圏空港との調整などの検討を求めている。これに対し国は、騒音環境軽減の観点から継続的に検討していくとしてお

り、区としても具体的に示すよう国に求めていく。

東京都受動喫煙防止条例について

たばこの煙があたりに蔓延しないように、世界に恥ずかしくない品川区をめざしていただきたいが、今後の条例についての周知・対応はどうされるのか。

区では各飲食店へ標識シールを個別配布するほか、標識の店頭表示状況の確認などを予定しており、こうしたきめ細かな対応により、都条例がめざす受動喫煙による健康被害の未然防止が図られるよう、着実に進める。

品川台場の保存について

第六台場は、近年劣化が著しく、崩落の危険の指摘あり、舟運・水辺観光、品川の歴史資産の損失になる。したがって、保存を目的とした調査が一刻も早く行われるべき。そこで、第六台場は港区に存在するが、港区に第六台場の状況の確認等をまずは行ってみるべき。管轄外であるが、区との関連のある重要な文化財であることから、必要に応じて情報を得ていく。

「その他の質問」  
・舟運の活性化について  
・運河の水質について

大倉たかひろ 議員 (自・無)



区民サービス向上の取り組みについて

行政のワンストップサービス化となる総合窓口の設置について、検討状況と総合窓口へ集約するべき業務について区の所見をうかがう。

総合窓口は導入に向けて検討を始めている。集約する業務は他自治体の先行事例なども研究しながら検討を進める。

新庁舎へ年金事務所や保健所等関係機関の機能を取り入れ機能集約を図ってはどうか。  
新庁舎への機能集約について、サービスや業務効率向上の視点を取り入れ検討していく。

開庁時間の延長や曜日拡大について区の考えは。  
開庁時間の延長は、新庁舎のあり方の議論の中で検討していく。

子どもたちの体験交流の充実について

品川区が実施している青少年ホームステイ等の国際交流に関して、受け入れ拡大をしてはどうか。

ホストファミリーの確保が厳しい状況だが事業拡大の可能性も含め引き続き協議していく。

子どもの柔軟な考えを区政に生かす「子ども議会」の開催について過去の評価と今後の開催について区の考えは。  
子ども議会は児童が選挙に関心を持つきっかけにもなり有意義であった。今後の開催については、開催のあり方について検討していく。

食品ロス削減に向けた取り組みについて  
NPO等と連携して食品ロス削減の取り組みを進めていくべきと考えるが、区の考えは。

戸越公園で計画を進めている環境学習交流施設では環境にかかわるボランティアの育成と活動を予定しており、食品ロス削減でのボランティアの活用においても検討していく。

「その他の質問」  
・東京2020大会後の取り組み

あくつ広王 議員 (公明)



自助・共助を強調した「防災意識社会」の構築について

区民の更なる防災意識の向上と自助・共助の体制強化を図るために「(仮称)品川区防災区民憲章」の制定を求める。

防災区民憲章の制定について長期的な視点で検討していく。  
研修を修了した地域防災リーダーへのフォローアップの充実と、しながら防災学校に「防災士」資格プログラムの導入を求める。

スキルの維持が課題であり、フォローアップ研修の実施について検討する。受講内容の精選が必要であり、現在のやり方を継続する。障がい者、高齢者など避難行動要支援者の個別支援計画の作成を推進するため、支援者へ個人情報保護の取扱い指針を示すべきである。

また、区と協定を締結したマンション管理組合へ要支援者名簿を提供できる仕組みづくりを求める。

自転車の活用と安全対策について

個人情報保護の規約やひな形となるものを計画作成の手引き等に反映する。また、マンションへの名簿提供の仕組みを研究していく。

自転車活用の実態に合った品川区版「自転車活用推進計画」の策定を求める。また、計画には交通安全対策の位置付けを求める。

区の「自転車活用推進計画」の策定を検討し、区民交通傷害保険の加入促進や安全教室の開催など交通安全対策も位置付けていく。

区内の子ども食堂と「しあわせ食卓事業」を支援するふるさと納税の対象拡大と今後の継続を求める。結果を踏まえ、継続を視野に入れながら対象の拡大を検討する。

西村 直子 議員 (自民)



発達障害児支援、親支援について

発達障害は症状なのか、個人の特性・性格なのか分りにくいため、乳幼児期の療育、健診での早期発見、スクリーニングの実施、障害受容に悩む保護者のサポートを。

今後療育ニーズの増が見込まれるため事業の充実を努める。  
専門家による定期的な巡回、保育人材の育成、育児相談会への保護者参加を助めている。

保育の質の確保について  
区は平成31年度待機児童12名まで実現。保育の質の確保に向けて今こそ取り組みを。

園長会で情報共有を図るほか、認証保育園含めて事業者と連携し、

# お金の使いみちを審査しました 平成30年度決算審査のあらましをお知らせします

9月20日の本会議において、決算特別委員会を設置し、平成30年度決算の審査を付託しました。

審議の結果、平成30年度各会計の決算はすべて認定すべきものと決定し、10月23日の本会議で認定しました。

決算の概要は下記をご覧ください。

決算特別委員会の構成は、以下のとおりです。

■ 委員長：大倉たかひろ ■ 副委員長：芹澤裕次郎、つる伸一郎

■ 理事：鈴木ひろ子、須貝行宏、田中さやか ■ 委員：議長および議員選出監査委員を除く全議員

\*平成30年度決算に対する各会派の意見表明は14～15ページに、総括質疑は17ページに掲載しています。

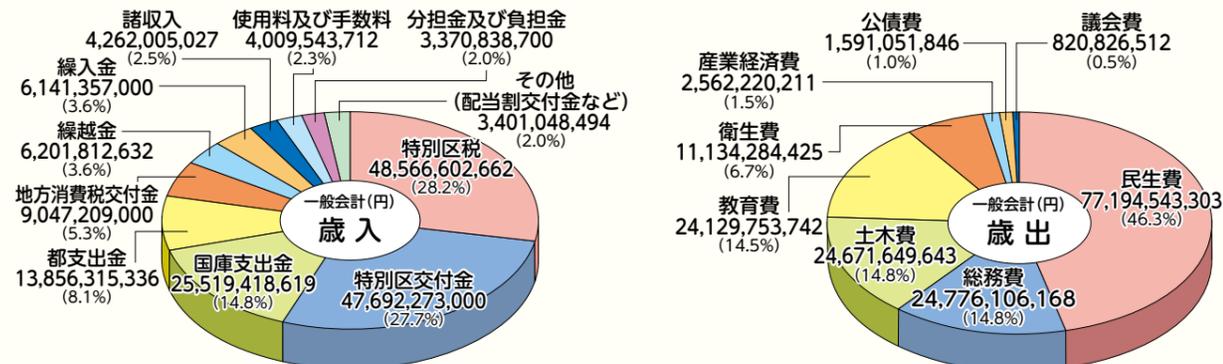


## 平成30年度決算の概要

会計	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰越
一般会計	1,720億6,842万4,182円	1,668億8,043万5,850円	51億8,798万8,332円
国民健康保険事業会計	373億627万740円	367億4,472万4,978円	5億6,154万5,762円
後期高齢者医療特別会計	82億9,401万8,858円	82億3,758万7,769円	5,643万1,089円
介護保険特別会計	249億3,684万7,812円	246億7,005万1,602円	2億6,679万6,210円
災害復旧特別会計*	0円	0円	0円

\*平成30年度は、事業の執行がなかったため、歳入決算額および歳出決算額はありませんでした。

## 平成30年度一般会計決算の内訳



## 決算とは

決算とは、1年間の収入および支出の見積(予算)に対して、実際の収入および支出の結果を明らかにしたものです。

区議会が行う決算審査は、区の予算が適法に目的どおり使われたか審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するという重要な役割を担っています。

中塚 亮 議員 (共産)



西大井のニコン及びNTT社宅跡地を区が購入し、福祉施設など区民要望の実現を

**問** ニコン跡地に続き、NTT社宅跡地についても、高齢者や障害者福祉、認可保育園など、福祉施設の建設を含め、さまざまな行政需要に応えるため、土地購入の意向をNTTに伝え、交渉開始を求める。

**答** 今後の活用については、自社での活用を中心に検討しているが詳細は未定と聞いている。地域や行政需要への所有者の貢献を初め、区としての活用も含め申し入れたい。

**問** ニコン跡地について、土地購入に向けた交渉の現状は。

**答** 今後の活用については、いまだ検討中とのことであることから、引き続き区の意向を伝えながら、動向を注視していく。

品川区役所建て替えは、密室での検討は止め、住民参加を位置づけよ

**問** 検討資料は全て公開とすべき。多様な意見を聴取し、開かれた建て替え計画策定委員会の設置を。

**答** 資料の公開や検討委員会の設置はこれからの問題であり、機能検討や基本構想を進める中でどういった形がいいのかを検討していきたい。

**問** 現庁舎の跡地は、再開発手法ではなく区単体とし、特養ホームや障害者施設など福祉施設の拠点を位置づけるべき。

**答** 現庁舎跡地については、大井町エリアのさらなるにぎわいの向上のため、多くの集客が可能な多目的の施設が必要と考えている。

**問** ジェンダー平等の実現で、だれもが自分らしく生きられる社会を

**答** ジェンダー平等とは何か。

**問** ジェンダー平等等とは何か。

**答** 社会的・文化的につくられた性別に基づく偏見や不平等の解消をめざすものである。

**問** ジェンダー平等の取り組みを抜本的に強める必要があると思うが、いかがか。

**答** 「マイセルフ品川プラン」の中で、性別にとらわれない人権尊重・多様な生き方への配慮を掲げている。

あべ祐美子 議員 (無所属)



SDGsと品川区政について

**問** ジェンダー平等に関し、DVや早期妊娠から若い世代を守るために国際ガイドラインに基づく包括的性教育と相談窓口を設けては。

**答** 学習指導要領に基づき実施している。相談は既存の総合相談を活用。

**問** 教育・子ども施策について

**答** A型教材の導入で教育の質が高まるとの実証結果もあるが、品川区でもEdTechを活用しSTEAM教育を取り入れては。また導入には教師の業務負担軽減が必要だが実態は。

**問** 活用を調査・研究している。7月の教師の平均在校時間は10時間12分で昨年同月より7分減った。

**答** 区立児童相談所の設置が計画されているが、職員の規模は。移管に向けて弁護士常駐や、子ども家

家庭支援センターの機能の充実と再直営化を検討すべき。

**問** 30人程度の配置を見込んでいます。弁護士は他自治体の配置状況を踏まえ検討する。センターの充実と利便性向上が必要であり、直営化は指定管理者と協議している。

**問** 区立ひるまち保育園の20年度末閉園が公表された。暫定としてつづき今夏まで閉園時期未定と説明しているのに1年半後の閉鎖は大きな負担が生じる。柔軟な対応を。

**答** 開設期間5年として開園した。スムーズに転園できるように対応する。

**問** 清掃事業における働き方について

**答** 清掃事業の雇上契約の運転手は長時間労働で昼休みも十分取れない状態。職員を大幅減員した翌月に交通事故も起きた。労働環境の改善を。

**問** 羽田空港新ルート計画について

**答** 引き続き継続的かつ安定的な清掃サービスの向上に努める。

**問** 国が計画を強行すれば、騒音等で区民に健康被害が出る心配もあり、国に健康調査を求めるべき。区も独自の窓口を設置して情報収集を。

**答** 健康調査等は国が判断すべき。区も専門部署の設置を検討しているが、意見は国が受け止めるべき。

各会計に対する各会派の賛否

会 計	結 果	自・無	自 民	公 明	共 産	品 改	ネ ッ ト
一般会計	認定	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
国民健康保険事業会計	認定	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	反対
後期高齢者医療特別会計	認定	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
介護保険特別会計	認定	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
災害復旧特別会計	認定	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

日本共産党品川区議団

●羽田新ルートは区民も区議会も「容認できない」と表明したのに、区長が最後まで撤回を求めず容認したため国が実施を決定。共産党は引き続き撤回へ全力尽くす  
 ●23区で最低の品川の福祉の改善へ、特養ホームと障害者施設の増設、国保料引下げと子どもの保険料無料化を  
 ●超高層ビル再開発は巨額の税金投入で開発大企業を儲けさせるもの。中止すべき  
 ●庁舎建て替えと一体で進める広町開発は、区がJR、日建設計等大企業と密室で検討。3億円の税金で検討委託した報告書も黒塗り・非公開。庁舎建て替えは開発と切り離し、情報公開、区民参加で

検討すべき●防災対策に本腰入れた取組みを。被害を未然に防ぐ予防対策、住宅耐震化、要援護者支援、避難所の改善を。気候変動への対策へ、自然エネルギーの拡充、支援を●パラリンピックの取組みで障害者理解を。障害者スポーツ推進を位置づけアダプテッドスポーツの普及を●小2から毎年続く一斉学力テストは、子どもと学校を序列化し競争教育を助長する。廃止を。事細かいルールで子どもの成長ゆがめる学校スタンダードは見直しを。少人数学級の実施を。●過去最高1034億円の基金は、さらに積み増すのではなく、これらの充実に充てるべき。

品川改革連合

平成30年度の一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療と介護保険と災害復旧特別会計の各歳入・歳出決算を認定します。本年度も歳入増が続き51億円の黒字、さらに多額の基金を積上げ健全な財政を維持しています。しかし一方で年金所得だけの高齢者、非正規雇用者、所得が増えない正規雇用者、子育て世帯などに低所得者層が増え続ける中、若年層の貧困や老後破産も急増しています。大半の国民は、増税や物価上昇により実質所得が減る上に、将来の生活不安から消費を抑え節約しています。また中小・零細企業は厳しい経営状況が続き、

後継ぎ資金繰りや人手不足により廃業や倒産は続いています。そして消費税の増税と米中貿易戦争は、国民の暮らしを暗くしています。区は経済対策をはじめ、大災害に備えた防災対策、待機児童対策、医療・介護などの高齢者対策等に重点を置くと共に、区内産業や低所得者層に対し、さまざまな生活支援を拡充して頂きたい。特に低賃金で社会を支えている保育士、幼稚園教諭や介護士の処遇改善を早急を実施するべきです。また学歴格差と就活格差がある今日、子ども一人一人に向き合い、社会で生き抜ける学力をつけさせて頂きたい。

品川・生活者ネットワーク

再開発事業の影響でひろまち保育園が突然の閉園告知となりましたが、閉園決定の過程が不明瞭です。この件に限らず区の政策決定過程を透明にすることを求めます。  
 子どもの権利条約を日本が批准して25周年を迎えました。国連やユニセフが取り組んでいる「子どもにやさしいまちづくり」の推進を強く求めます。  
 環境政策は、世界的に問題となっている気候変動問題やプラスチック削減などについて、具体的かつ実効性のある取り組みを求めます。  
 障がい者福祉は、「障害者福祉のしおり」等の発行物

を当事者に分かりやすいものとするよう求めます。  
 防災は、水害も想定した避難所の検討とスフィア基準に沿った避難所運営が実現するよう求めます。  
 原発事故は未だ収束していません。放射性物質の影響を受けやすい子どもたちの育つ権利を保障するため給食放射能測定継続と単品検査へ移行することを求めます。  
 羽田新飛行ルート案について、品川区も国交省から十分な説明を受けていないことが決算特別委員会で明らかになりました。世界屈指の人口密集地東京を貫く新ルート計画は白紙撤回し、合理的代替案を提示すべきです。

# 平成30年度決算に対する各会派の意見表明

※各会派からの原文のとおり掲載しています。

自民・無所属・子ども未来

自民・無所属・子ども未来は、平成30年度の品川区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各歳入歳出決算を認定します。30年度の日本経済は緩やかな回復が続き実質経済成長率が0.7%の増となり、区の歳入においても、区政運営の根幹をなす特別区民税が対前年プラス21億円となり、一般財源全体では7年連続の増加となった。普通会計の実質収支は約51億円の黒字、経常収支比率は71.9%、人件費比率は14.6%であり、引き続き健全財政が維持され区政運営が行われていることを確認し

た。一方、本年8月分の景気動向指数によると、景気の基調判断をこれまでの「下げ止まり」から「悪化」に下方修正され、消費税率の改定と相まって区内景気の減速が懸念される。医療と介護、子育て、産業振興、まちづくり等、本委員会で議論された様々な課題がある中、その解決に向け、更なる創意工夫が必要になると考える。  
 各委員が発言した指摘や政策提案が事業遂行に十分に反映され、予算編成を始めとする区政運営が区民福祉の一層の向上に寄与することを強く求め意見表明と致します。

品川区議会自民党

平成30年度は、普通会計の実質収支は約51億円の黒字となり、経常収支比率は71.9%、人件費率は14.6%と健全財政を維持していることを評価します。そして、基金残高も初めて1,000億円を超えました。引き続き区民の福祉・生活の向上に努められることを要望します。  
 今決算特別委員会において、我が会派議員が区民の皆様や各種団体などから頂いた声をまとめた上、指摘・政策提言をいたしました。何点かここで取り上げます。基金の積極的な活用、庁舎改築を含めた広町開発、学校・シルバーセンターや児童センターなどの公共施設の複合

化を含めた積極的な改築、オリンピック・パラリンピック開催までの機運醸成、期間中のイベントなどや、終了後のレガシー、外国人を含めた介護人材不足への対応、リンフィールドカレッジへの人数枠拡大、水辺景観会議や仮称天王洲エリアマネジメントなどへの参画、子どもたちの散歩道の確保、部活動の強化、災害時のFMしながわの体制構築、多職種連携システムの拡充、八潮新駅の誘致、コミュニティ・スクールの充実など、令和2年度品川区の予算、事務事業に反映され実現して頂くことをお願いし、品川区議会自民党の意見表明とします。

品川区議会公明党

一般会計歳入は前年度比2.1%増、歳出2.8%増で、執行率95%、51億円余の黒字となり、また、30年度に導入された新公会計制度により現金・建物等の資産2兆3千億円、区債等の負債283億円が明らかになりました。各会計含め健全財政のもと適正な決算状況と認定します。  
 区民サービスでは、避難所運営マニュアル更新支援、防災体験館VR導入などの防災対策、保育園1,500名定員増、高校生在学応援資金などの子育て・教育、高齢者住宅生活支援、高齢障がい者支援などの福祉の事業、健康ポイント事業などの健康施策等、公明党の提案を含め

た取り組みが、積極的に展開されました。  
 質疑の中で、生活保護ケースワーカー、ヘルプカード、災害時の区民住宅・避難所電源確保のあり方など指摘した点は、スピード感ある対応を求めます。インフルエンザ予防接種助成、SDGsの取り組みや住宅施策等の提案は、来年度予算や次期長期基本計画への反映を要望します。また、災害時の非常用電源、がけ・擁壁の安全化、罹災証明書、防災区民憲章など防災に関する質疑を多く行いましたが、地震・風水害への備えの更なる強化に努め、区民の安全安心へ邁進されることを強く求めます。

### 決算特別委員会

決算特別委員会は、10月2日から16日のうちの計7日間にわたり平成30年度決算の審査を行いました。最終日の10月16日には、平成30年度決算について、各会派を代表して10人の委員が各会計歳入歳出決算の全般にわたり総括質疑を行いました。

その後、各会派より意見表明を行い、採決をしました。(各会派の意見表明は、14～15ページに掲載。)

総括質疑における質問の要旨は、以下のとおりです。

#### 〈総括質疑〉

鈴木 博 委員(自・無)  
子宮頸がん(治療等)、子宮頸がん検診(受診率等)、HPVワクチン(接種勧奨に係る区の取り組み等)について

高橋 伸明 委員(自・無)  
私立保育園での防災対策(避難訓練実施の確認等)、ゾーン30、空き家対策、町会・自治会活動の活性化について

芹澤 裕次郎 委員(自民)  
介護職の担い手確保(海外からの人材の受入れ等)、東京2020大会のレガシー、シティブロモーションについて

鈴木 真澄 委員(自民)  
台風19号への対応、長期基本計画策定、今後の区政運営(基金等)、広町再開発、障害者福祉、学校教育について

つる 伸一郎 委員(公明)  
SDGs(エシカル消費の周知・啓発イベント等)、オリンピック・パラリンピック、住まいの確保施策について

こんの 孝子 委員(公明)  
防災対策(在宅避難における電源確保等)、インフルエンザ予防接種、3歳児健診の視力検査(概要等)について

中塚 亮 委員(共産)  
羽田新飛行ルート(「地元の理解を得られた」「来年から実施する」という国の判断、地方自治の理解等)について

安藤 たい作 委員(共産)  
再開発事業(これまでの補助金総額等)、国民健康保険料(子どもの均等割無料化等)、庁舎建替えについて

須貝 行宏 委員(品改)  
自動車の安全対策(年齢別の事故発生率のデータに係る認識等)、マンションの老朽化、電線の地中化について

吉田 ゆみこ 委員(ネット)  
羽田新飛行ルート(着陸進入角度変更による影響、落下物対策等)、福祉事業における委託契約のあり方について

## 特別委員会の活動 8月～10月

8月から10月末までの委員会の  
主な活動は次のとおりです。

### 行財政改革特別委員会

8月27日 「庁舎のあり方に関すること」および「区有施設・公有地等活用に関すること」をテーマに調査・研究。

9月26日 陳情審査(2件)。  
JR大崎駅を視察。  
「区内鉄道駅などの公共交通に関すること」をテーマに調査・研究。



### オリンピック・パラリンピック 推進特別委員会

8月28日 大井ホッケー競技場を視察。  
「オリンピック・パラリンピックの推進に関すること」をテーマに調査・研究。  
東京2020パラリンピック観戦チケットの第一次抽選申込の報告について質疑。

9月27日 こみゆにていぶらざ八潮(ポッチャ体験)を視察。  
「大会終了後の施設活用などレガシーに関すること」をテーマに調査・研究。



大井ホッケー競技場

### 厚生委員会

8月26日 報告4件(令和元年度 高齢者福祉行事など)について質疑。  
「母と子の健康施策の推進について～母子の健康支援～」をテーマに調査・研究。  
品川区立障害児者総合支援施設を視察。

9月24日 陳情審査(5件)。  
専決処分報告について質疑。

9月25日 報告3件(平成30年度指定管理者の管理に対するモニタリング・評価の結果など)について質疑。  
「地域共生社会の推進について～障害児者への支援～」をテーマに調査・研究。

### 建設委員会

8月7日 「東京河川改修促進連盟」の総会および促進大会に参加。

8月26日 報告5件(羽田空港の機能強化に関する動きなど)について質疑。  
「交通安全対策について」をテーマに調査・研究。

9月24日 議案審査(1件)、陳情審査(5件)。  
報告7件(第30回東京都道路整備事業推進大会など)について質疑。

9月25日 報告7件(武蔵小山賑わい軸地区街並み再生方針の策定など)について質疑。  
日本音楽高等学校1号館(旧池田菊苗邸)、日本ペイントホールディングス(株)明治記念館、茶室「有時庵」を視察。

### 文教委員会

8月26日 報告4件(品川区立図書館の特別整理期間など)について質疑。  
「児童虐待防止対策について」をテーマに調査・研究。

9月24日 議案審査(6件)。  
請願審査(1件)。  
専決処分報告について質疑。

9月25日 報告8件(教育職員に係る勤務時間および給与関係の条件整備、平成30年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果、令和元年度「秋の読書フェア」など)について質疑。



## 常任委員会の活動 8月～10月

8月から10月末までの委員会の  
主な活動は次のとおりです。

### 総務委員会

8月26日 報告7件(品川区長期基本計画の策定状況など)について質疑。

9月24日 議案審査(6件)、請願・陳情審査(5件)。

9月25日 議案審査(1件)。  
報告5件(ニュースアプリ「スマートニュース」を活用した情報発信など)について質疑。  
「選挙の運用について～時代に合った運用のあり方～」をテーマに調査・研究。



### 区民委員会

8月26日 報告5件(オリジナル出生届用クリアファイルの配付など)について質疑。  
「中小・ベンチャー企業支援について～五反田バレーの現状について～伝統工芸産業の活性化について～」をテーマに調査・研究。

9月24日 議案審査(3件)。  
平成30年度指定管理者による管理に対するモニタリング・評価の結果の報告について質疑。

9月25日 報告5件(番号制度に係る住民基本台帳事務における「特定個人情報評価」の再実施など)について質疑。  
「都市型観光について～インバウンド施策について～」をテーマに調査・研究。

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果
建設委員会	羽田増便による新飛行ルートの新教室型説明会<を>を引き続き開催することに関する陳情	令和元年陳情第34号	継続審査
	区議会決議を尊重して国交省に撤回を求めるよう区長に求める陳情	令和元年陳情第37号	継続審査
	公有地払い下げの透明性に関する陳情	令和元年陳情第40号	不採択
	高齢者が気軽に出かけられるようコミュニティバスの運行を求める陳情	令和元年陳情第44号	継続審査※
	「百反通り」にコミュニティバスの運行を求める陳情	令和元年陳情第48号	継続審査※
文教委員会	品川区に、返還免除規定を持つ奨学金制度の拡大を求める請願	令和元年請願第16号	不採択
	ひろまち保育園閉園に関する陳情	令和元年陳情第47号	継続審査※
行財政改革特別委員会	小山台宿舎跡地に計画されている区の福祉施設建設候補地の再検討を求める陳情	令和元年陳情第30号	不採択
	「小山台住宅等跡地利用方針」について再検討を求める陳情	令和元年陳情第36号	不採択

採 択：区議会として、ご希望に賛同します。 趣旨採択：区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。  
 不 採 択：区議会として、ご希望に賛同しかねます。 継続審査：区議会として、引き続き慎重に審査します。  
 （※は10月23日の本会議最終日に付託されました）

### 請願・陳情とは

区議会では、区政についての皆さんのご要望やご意見を、請願や陳情としてお受けしています。本会議で採択した請願や陳情は、区長や教育委員会などの執行機関に送り、その実現に努力するよう求めます。

### 本会議・委員会の日程（予定）

会議名		開催日時
本会議		11月28日(木)午後 1時 11月29日(金)午前10時 12月12日(木)午後 1時
常任委員会	総務	12月2日(月)午前10時 12月3日(火)午前10時
	区民	
	厚生	
	建設	
議会運営委員会		11月27日(水)午前10時30分 12月11日(水)午前10時30分
特別委員会	行財政改革	12月5日(木)午前10時
	オリンピック・パラリンピック推進	12月6日(金)午前10時

### ケーブルテレビ 放送予定

本会議の一般質問の様子は、ケーブルテレビ品川の「品川区民チャンネル」で放送予定です。放送予定日は以下のとおりです。

- 放送予定日
- ・本会議（一般質問）  
12月2日(月)～12月6日(金)
- (再放送)  
12月7日(土)・12月8日(日)

\*本会議・委員会は傍聴できます。日程等は変更になる場合がありますので、事前に区議会事務局までお問い合わせください。  
 \*本会議は区議会ホームページでインターネット生中継をしています。また、本会議終了後おおむね1週間後に、インターネット録画中継をご覧いただけます。

## 請願・陳情の結果 令和元年第3回定例会

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、結果をお知らせします。請願・陳情についての議事内容等は、各付託委員会の会議録から確認できます。

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果
総務委員会	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願	令和元年請願第14号	採択
	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願	令和元年請願第15号	採択
	公共工事の発注にあたり、適正に事前調査を実施し適切な契約書の作成を行うよう区長に求める陳情	令和元年陳情第22号	不採択
	住民監査請求書の形式要件に不備がある場合は請求者に補正するよう指導することを求める陳情	令和元年陳情第24号	不採択
	情報公開閲覧手数料廃止の陳情	令和元年陳情第31号	不採択
	日本政府に香港の「自由」と「民主主義」を守る行動を求める陳情	令和元年陳情第39号	不採択
	公共工事事確法に則った発注者の役割である「適正な工程管理」を求める陳情	令和元年陳情第42号	不採択
	「第6期品川区障害福祉計画 第2期品川区障害児福祉計画」の策定委員会と実態調査に関する陳情	令和元年陳情第27号	不採択
厚生委員会	「地域共生社会実現」のために、地域の中に障害者施設の整備を求める陳情	令和元年陳情第28号	不採択
	品川区の相談支援制度について説明できる職員を配置するか、文章にわかりやすくまとめたものを配布することを求める陳情	令和元年陳情第32号	不採択
	障害者のための「日中一時支援事業」の実施を求める陳情	令和元年陳情第33号	不採択
	南品川6-7-18の土地のホテル計画に関する陳情	令和元年陳情第35号	継続審査
	八潮団地内に入浴設備のあるシルバーセンターの整備を求める陳情	令和元年陳情第38号	不採択
	心身障害者福祉会館の改築ができない理由の説明を求める陳情	令和元年陳情第41号	不採択
	高齢者への補聴器購入費用の助成を求める陳情	令和元年陳情第43号	継続審査※
	障害者が安全に利用できる心身障害者福祉会館の整備を求める陳情	令和元年陳情第45号	継続審査※
	一元化した指定管理による障害児者総合支援施設の管理運営を求める陳情	令和元年陳情第46号	継続審査※
	建設委員会	羽田増便による新飛行ルートの新教室型説明会<を>を引き続き開催することに関する陳情	令和元年陳情第17号
便利なコミュニティバスの運行を求める陳情		令和元年陳情第18号	継続審査
八潮団地から気軽に外出できるようコミュニティバスの運行を求める陳情		令和元年陳情第21号	継続審査
東大井5丁目1～4番（C地区）のまちづくり勉強会＝第一種市街地再開発に対し断固反対し、止めて下さい。を求める陳情		令和元年陳情第23号	不採択
区立荏原児童遊園の一部廃止ならびに再整備等に関する陳情		令和元年陳情第25号	趣旨採択
荏原一丁目町会会館移転等に関する陳情		令和元年陳情第26号	趣旨採択
細街路拡幅整備事業における情報開示と住民差別に関する陳情		令和元年陳情第29号	不採択

## インターンシップ生を受け入れました

品川区東五反田にある清泉女子大学の学生1名が、8月26日から8月30日までの5日間、インターンシップ制度を利用して区議会事務局に来られました。ご本人からいただいた感想を掲載します。

### 多くの発見と人生における大きな第一歩



私は今回初めて、インターンシップという職業体験を品川区役所でしました。なぜ品川区を選んだかという、私が通っている大学があり、この区のことをよく知りたいと思ったからです。また、多くの方が住んでいる区であるため、より多くの方を支えることが出来る仕事だと思い、応募しました。

私が配属された部署は、区議会事務局という、区役所の中でも少し特殊なところでした。実際に議員さんに関わったり、会議に参加し内容をまとめたり、区議会だよりを製作したり、議会をよりよくする仕事でした。私が実際に体験する前まで抱いていた区役所の仕事のイメージは、カウンター越しに区民の方とお話したりするものだったので、実際に行った仕事内容とは大きく異なっていて驚きまし

た。実際に見て、体験しないとわからなかったことだと思います。また、委員会を傍聴させていただいた時、私はとてもびっくりしました。議員の方全員が自分の意見や疑問を発言しており、話し合いがとてもスムーズに、活発に行われていました。日本人は内気なイメージで、私自身も大人数の前で話すことが苦手だったため、この光景がとても新鮮で、刺激になりました。区民のことを第一に考えて話し合っているのだと感じました。実際に仕事をしたり、働いている方と一緒に仕事をする中で、社会人になり仕事をするということの意味を少し理解することが出来ました。大人への第一歩を踏み出せたような気がします。



本会議映像の編集実習

### 区議会だよりに掲載する 写真を募集しています

区議会だよりは、11名の区議会議員で構成する「広報会議」が編集をしています。

広報会議では、「区議会だよりについて、より多くの方にご興味を持っていただきたい」との思いから、今回初めて表紙写真の募集を行いました。そして、ご応募いただいた中から選ばれた1枚を表紙に掲載しています。ご応募いただいた皆様、素晴らしいお写真をありがとうございました。

引き続き、区議会だよりに掲載する写真の募集を行いますので、品川区内で撮影された写真がございましたら、ぜひご応募ください。

#### 【資格】区内在住・在勤・在学の方

※応募規定など、詳細は区議会ホームページでのご案内をご覧ください。

<https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/magazine/apply>

(右記のQRコードからもアクセスできます)



(QRコード)

#### 【問い合わせ先】

調査係 電話：03-5742-6810 Fax：03-5742-6895

### 次回の区議会だよりは 新聞折り込みで お届けします

1月1日発行の区議会だよりは、例年新聞折り込みでお届けしています。令和2年1月1日発行予定の次月号も新聞折り込みでお届けします。また、令和2年1月4日から11日までは品川区内の駅の広報スタンドにも置いてありますのでご利用ください。

区議会だよりは  
区議会ホームページからも  
ご覧いただけます。

品川区議会

検索